

所 属 共和水産 株式会社
氏 名 たぶち しんたろう
田淵 慎太郎 (23 歳)
船 名 だい こうようまる 135 トン
漁業種類 大中型まき網



～漁師の仕事が一番、性に合っている～

境港市出身。魚が好きで板前になったが、料理を作るより魚を獲るほうに興味を持ち、漁師に転身。おじいちゃんが境港で小型底びき網（小底）の漁師をしていたので、1年間小底に乗り、まき網漁業の世界へ。今は、網船の搭載艇の伝馬係をしている。いろいろな仕事を経験したけれど、今の仕事が自分に一番合っているようだ。

もうすぐ第一子が産まれます、と顔をほころばす。聞けば、同じ船団の副漁労長が、奥さんのお父さんだそうだ。「仕事で手抜きは出来ませんよ」と苦笑する。

将来の目標を聞くと「伝馬長かな、でも今の仕事を覚えるので精一杯。目の前のことを一生懸命やるだけですよ。」とのこと。仕事はやってみないと何が自分に向いているかわからない。20代で天職に巡り合えたことは幸せなことだろう。将来の境港の水産業を背負って立つ逸材に育ててほしい。

～仕事のオフは家族旅行～

休暇の時は何をして過ごしていますか？と問いかけると「家族サービス。やっぱり旅行かな」とのこと。航海で長く家を空けるのでオフの時は皆、家族との時間を大切にしているようだ。第一子が産まれれば、ますます帰港が待ち遠しくなることだろう。

(文責：尾田 昌紀)